

平成 2 9 年度

財政事情と主要な施策の成果

魚沼地区障害福祉組合

目 次

第 1	組合会計の状況	1
1	決算の概要	1
(1)	決算収支	1
(2)	決算額の推移	2
(3)	歳入の状況	3
ア	歳入科目別内訳	3
イ	負担金及び県支出金の内訳	4
ウ	諸収入の内訳	5
(4)	歳出の財源内訳	6
(5)	年度別の主な請負工事と購入備品	7
(6)	組合費及び繰越金の推移	8
(7)	基金積立金の状況	9
(8)	地方債現在高の状況	9
(9)	決算の特徴	10
第 2	業務の概要と成果	12
1	児童・利用者の概況（平成 29 年 3 月 31 日現在）	12
2	職員の状況	14
3	施設運営・支援の概要	15
4	今後の課題	16

第1 魚沼地区障害福祉組合会計の状況

1 決算の概要

(1) 決算収支

魚沼地区障害福祉組合会計の決算額

歳入 325,817千円(平成28年度 305,051千円)

歳出 286,632千円(平成28年度 278,313千円)

前年度に比べて歳入歳出は次のような減額となりました。

歳入 20,766千円増(6.8%増)

歳出 8,319千円増(3.0%増)

形式収支

平成29年度の形式収支(歳入歳出差引額)は、39,185千円となりました。
(平成28年度 26,738千円)

実質収支

平成29年度の実質収支(形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額)は、39,185千円となりました。
(平成28年度 26,738千円)

単年度収支

実質収支39,185千円から、前年度実質収支26,738千円を差し引いた単年度収支額は、12,447千円となりました。
(平成28年度 25,330千円)

実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金積立金2万円を加えた実質単年度収支額は、12,467千円となりました。
(平成28年度 15,335千円)

(2) 決算額の推移

(単位：千円)

年度	歳入		歳出	
	決算額	前年度比較	決算額	前年度比較
平成22年度	361,721	▲ 13,271	356,038	▲ 11,604
平成23年度	366,776	5,055	345,812	▲ 10,226
平成24年度	411,560	44,784	388,296	42,484
平成25年度	353,174	▲ 58,386	310,276	▲ 78,020
平成26年度	738,091	384,917	676,525	366,249
平成27年度	789,288	51,197	787,880	111,355
平成28年度	305,051	▲ 484,237	278,313	▲ 509,567
平成29年度	325,817	20,766	286,632	8,319

(3) 歳入の状況

ア 歳入科目別内訳

(単位：千円)

区	分	平成29年度	平成28年度	増 減		
分担金及び		256,158	245,156	11,002		
負担金	市町 分担金	経常費分担金	57,076	55,000	2,076	
		施設整備費 分 担 金	2,888	2,853	35	
	負担金	児童福祉費		196,194	187,303	8,891
				21,190	19,578	1,612
			市町障害児施設 入 所 給 付 費	0	0	0
			市町居宅生活 給 付 費	17,436	15,849	1,587
			障害児施設利 用 者 負 担 金	1,217	1,302	▲ 85
		居宅生活支援 利 用 者 負 担 金	2,537	2,427	110	
		社会福祉費		175,004	167,725	7,279
			市町施設入所支 援 介 護 給 付 費	158,520	151,747	6,773
			市町居宅生活 支 援 費	39	38	1
			施設支援介護利 用 者 負 担 金	16,439	15,935	504
	居宅生活支援費 利 用 者 負 担 金		6	5	1	
	県支出金		40,949	43,865	▲ 2,916	
	県委託金	児童福祉費 県 委 託 金	19,457	21,826	▲ 2,369	
	施設給付金	障害児施設 給 付 金	21,492	22,039	▲ 547	
財産収入	基金及び積立金	34	4	30		
寄 附 金	寄 附 金	1,050	149	901		
繰 入 金	基金繰入金	0	13,200	▲ 13,200		
繰 越 金	前年度繰越金	26,738	1,408	25,330		
諸 収 入		888	1,269	▲ 381		
	雑 入	888	1,269	▲ 381		
組 合 債	組 合 債	0	0	0		
歳 入 合 計		325,817	305,051	20,766		

イ 負担金及び県支出金の内訳

(単位:千円)

区 分		比 較			魚 沼 学 園			魚 沼 更 生 園			合 計		
		平成29年度	平成28年度	増 減	平成29年度	平成28年度	増 減	平成29年度	平成28年度	増 減			
負 担 金	学 園	市町障害児施設入所給付費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		市町居宅生活給付費	17,436	15,849	1,587	0	0	0	17,436	15,849	1,587		
		障害児童施設利用者負担金	1,217	1,302	▲ 85	0	0	0	1,217	1,302	▲ 85		
		居宅生活支援利用者負担金	2,537	2,427	110	0	0	0	2,537	2,427	110		
		小 計	21,190	19,578	1,612	0	0	0	21,190	19,578	1,612		
	更 生 園	市町施設入所支援介護給付費	0	0	0	158,520	151,747	6,773	158,520	151,747	6,773		
		市町居宅生活支援費	0	0	0	39	38	1	39	38	1		
		施設支援介護利用者負担金	0	0	0	16,439	15,935	504	16,439	15,935	504		
		居宅生活支援費利用者負担金	0	0	0	6	5	1	6	5	1		
		小 計	0	0	0	175,004	167,725	7,279	175,004	167,725	7,279		
計		21,190	19,578	1,612	175,004	167,725	7,279	196,194	187,303	8,891			
県 支 出 金	委 託 金	管理委託基準による事務費	13,841	15,595	▲ 1,754	0	0	0	13,841	15,595	▲ 1,754		
		重度指定加算											
		25%	0	0	0	0	0	0	0	0			
		30%	0	0	0	0	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0	0	0	0	0			
		重度重複障害児加算費	0	0	0	0	0	0	0	0			
		被虐待時受入加算費	417	417	0	0	0	0	417	417	0		
		生活諸費	3,657	4,122	▲ 465	0	0	0	3,657	4,122	▲ 465		
		教育費	305	375	▲ 70	0	0	0	305	375	▲ 70		
		高等部進学費	106	0	106	0	0	0	106	0	106		
		見学旅行費	172	138	34	0	0	0	172	138	34		
		入進学支度金	47	47	0	0	0	0	47	47	0		
		学校給食費	340	385	▲ 45	0	0	0	340	385	▲ 45		
		期末一時扶助費	37	37	0	0	0	0	37	37	0		
採暖費	286	285	1	0	0	0	286	285	1				
就職支度金	163	0	163	0	0	0	163	0	163				
緊急一時保護委託料	86	425	▲ 339	0	0	0	86	425	▲ 339				
計	19,457	21,826	▲ 2,369	0	0	0	19,457	21,826	▲ 2,369				
施設給付金	21,492	22,040	▲ 548	0	0	0	21,492	22,040	▲ 548				
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
計	40,949	43,866	▲ 2,917	0	0	0	40,949	43,866	▲ 2,917				
合 計		62,139	63,444	▲ 1,305	175,004	167,725	7,279	237,143	231,169	5,974			

ウ 諸収入の内訳

(単位：円)

区	分	平成29年度	平成28年度	増 減
雑	入園芸班売上収入	17,560	100,630	▲ 83,070
	家庭科班売上収入	165,510	221,128	▲ 55,618
	損害賠償金	0	5,260	▲ 5,260
	私用電話・複写機 使 用 料	4,730	6,875	▲ 2,145
	施設見学謝礼	0	10,000	▲ 10,000
	実 習 謝 礼	191,000	203,000	▲ 12,000
	外来者等給食提供 徴 収 実 費	9,600	700	8,900
	非常勤職員 雇 用 保 険 料	125,764	152,057	▲ 26,293
	廃材等処分収入	70	160	▲ 90
	保険料還付金	50,700	43,670	7,030
	水道使用料	0	0	0
	保険等事務手数料	87,566	53,880	33,686
	自動販売機 利 用 還 付 金	27,718	28,798	▲ 1,080
	公衆電話還付金	1,146	408	738
	公有自動車共済費	43,848	77,352	▲ 33,504
	自動車事故保険金	0	309,398	▲ 309,398
	建物災害共済金	116,532	0	116,532
	ふれあい展模擬店 売 上 金	46,682	55,537	▲ 8,855
合 計		888,426	1,268,853	▲ 380,427

(4) 歳出の財源内訳

(単位:千円)

目的別 性質別	議会費			総務費									民生費									公債費			合計			
				総額			(1)総務管理費			(2)監査委員費			総額			(1)児童福祉費			(2)社会福祉費									
	H29	H28	比較	H29	H28	比較	H29	H28	比較	H29	H28	比較	H29	H28	比較	H29	H28	比較	H29	H28	比較	H29	H28	比較				
1. 人件費	12	12	0	36	36	0	22	20	2	14	16	▲ 2	219,309	218,261	1,048	77,217	73,431	3,786	142,092	144,830	▲ 2,738	0	0	0	219,357	218,309	1,048	
うち職員給	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170,139	165,719	4,420	60,015	56,939	3,076	110,124	108,780	1,344	0	0	0	170,139	165,719	4,420	
2. 物件費	23	13	10	6,162	5,721	441	6,133	5,689	444	29	32	▲ 3	26,183	23,538	2,645	7,183	6,821	362	19,000	16,717	2,283	0	0	0	32,368	29,272	3,096	
3. 維持補修費	0	0	0	139	0	139	139	0	139	0	0	0	887	373	514	0	57	▲ 57	887	316	571	0	0	0	1,026	373	653	
4. 扶助費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,406	22,781	1,625	9,983	9,347	636	14,423	13,434	989	0	0	0	24,406	22,781	1,625	
5. 補助費等	0	0	0	752	590	162	752	590	162	0	0	0	1,328	1,104	224	0	0	0	1,328	1,104	224	0	0	0	2,080	1,694	386	
6. 普通建設事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,370	3,026	1,344	62	0	62	4,308	3,026	1,282	0	0	0	4,370	3,026	1,344	
7. 公債費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,989	2,853	136	2,989	2,853	136	
8. 積立金	0	0	0	36	5	31	36	5	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	5	31	
9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
歳出合計	35	25	10	7,125	6,352	773	7,082	6,304	778	43	48	▲ 5	276,483	269,083	7,400	94,445	89,656	4,789	182,038	179,427	2,611	2,989	2,853	136	286,632	278,313	8,319	
財源内訳	財 国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,948	43,866	▲ 2,918	40,948	43,866	▲ 2,918	0	0	0	0	0	0	40,948	43,866	▲ 2,918
	財 使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,199	19,669	530	3,754	3,729	25	16,445	15,940	505	0	0	0	20,199	19,669	530
	財 分担金・負担金・寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	財 資産収入	0	0	0	34	0	34	34	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	34
	財 繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,200	▲ 3,200	0	0	0	0	3,200	▲ 3,200	0	0	0	0	3,200	▲ 3,200
	財 諸収入	0	0	0	160	0	160	160	0	160	0	0	0	450	664	▲ 214	95	135	▲ 40	355	529	▲ 174	0	0	0	610	664	▲ 54
	財 繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	財 地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財 一般財源	35	25	10	6,931	6,352	579	6,888	6,304	584	43	48	▲ 5	214,886	201,684	13,202	49,648	41,926	7,722	165,238	159,758	5,480	2,989	2,853	136	224,841	210,914	13,927	

※ 各性質別区分は、地方財政状況調査に基づく分類です。
このため、実際の会計科目における執行の集計区分が一部異なっています。

(5) 年度別の主な請負工事と購入備品

(単位：千円)

年 度	金 額	項 目
平成26年度	205,200	魚沼学園建替建築工事
	52,200	魚沼学園建替電気設備工事
	81,600	魚沼学園建替機械設備工事
	173	石像移設工事
	918	樹木移植工事
	795	体育館北東側外壁塗装工事
	472	雪庇対策工事
	173	業務用炊飯ジャー 他魚沼学園入替等備品
	350	洗濯機 他魚沼更生園入替等備品
計	341,881	
平成27年度	299,580	魚沼学園建替建築工事
	42,761	魚沼学園建替電気設備工事
	93,559	魚沼学園建替機械設備工事
	580	魚沼学園居室用ベット20台
	256	魚沼学園食堂用テーブル6台
	106	魚沼学園正面及び児童玄関踏み板7点
	181	魚沼学園建替に伴うプール給水管接続工事
	603	魚沼学園建替に伴う渡り廊下風除板取付工事
	788	魚沼学園建替に伴う案内看板取付工事
	116	魚沼学園建替に伴う体育館接続用防雨工事
2,203	合併浄化槽廃止工事	
計	440,733	
平成28年度	909	魚沼更生園園芸作業用畑客土工事
	648	魚沼更生園構内一部芝張工事
	659	魚沼更生園女子静養室設置工事
	324	魚沼更生園女子静養室電気設備工事
	162	魚沼更生園自動ドア鍵取替工事
	12	魚沼更生園インターホン増設工事
	29	魚沼更生園非常放送用スピーカー取付工事
	324	魚沼更生園汚水枡スクリーン取付工事
	60	魚沼学園プール排水管バルブ取付工事
	116	厨房用冷蔵庫 他魚沼学園入替等備品
108	魚沼更生園液晶テレビ	
177	ソファベッド 他魚沼更生入替等備品	
計	3,528	
平成29年度	270	厨房用シンク設置工事
	3,726	魚沼更生園男子棟浴室工事
	55	厨房用食品棚取付工事他
	257	魚沼更生園寮舎エアコン取付工事
	246	厨房用冷凍庫購入
	1,501	利用者外出用車両購入
	62	魚沼学園2階洗面所収納棚上部工事
	210	液晶テレビ 他魚沼学園入替等備品
811	ソファベッド 他魚沼更生園入替等備品	
計	7,138	

(6) 組合費及び繰越金の推移

(単位：千円)

年度	経常費分担金	建設費分担金	分担金計 A	歳出総額 B	歳出総額に占める 分担金の割合 A/B	前年度繰越金
H17	注 1 73,842	0	73,842	402,620	18.34%	15,697
H18	注 2 74,247	0	74,247	374,769	19.81%	14,877
H19	注 3 81,730	0	81,730	374,250	21.84%	13,220
H20	注 4 72,178	0	72,178	377,588	19.12%	25,395
H21	注 5 71,680	0	71,680	367,642	19.50%	14,728
H22	注 6 54,015	0	54,015	356,038	15.17%	7,350
H23	注 7 60,045	0	60,045	345,812	17.36%	5,683
H24	注 8 68,738	0	68,738	388,296	17.70%	20,964
H25	注 9 62,660	0	62,660	310,276	20.19%	23,264
H26	注10 60,853	注11 67,000	127,853	676,525	18.90%	42,898
H27	注12 58,000	注13 9,145	67,145	787,880	8.52%	61,566
H28	注14 55,000	注15 2,853	57,853	278,313	20.79%	1,408
H29	注16 57,076	注17 2,888	59,964	286,632	20.92%	26,738

- 注 1 新潟市・与板町・吉田町（組合構成団体外）より管外児童分1,842千円を含む。
- 注 2 新潟市・長岡市・燕市・日高市（組合構成団体外）より管外児童分2,247千円を含む。
- 注 3 新潟市・長岡市・燕市・日高市（組合構成団体外）より管外児童分2,730千円を含む。
- 注 4 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分2,178千円を含む。
- 注 5 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分1,680千円を含む。
- 注 6 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分2,015千円を含む。
- 注 7 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,045千円を含む。
- 注 8 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,738千円を含む。
- 注 9 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,660千円を含む。
- 注 10 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,853千円を含む。
- 注 11 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
- 注 12 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,054千円を含む。
- 注 13 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
- 注 14 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,114千円を含む。
- 注 15 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
- 注 16 新潟市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,076千円を含む。
- 注 17 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。

(7) 基金積立金の状況

(単位：千円)

項 目 別	平成28年度末残高	平成29年度中増減		平成29年度末残高	備 考
		積 立 額	取 崩 額		
施 設 整 備 基 金	64,017	16	0	64,033	
財 政 調 整 基 金	107,426	20	0	107,446	
計	171,443	36	0	171,479	

- 9 -

(8) 地方債現在高の状況

(単位：千円)

発行 年度	区 分	平成28年度末 現在高	平 成 2 9 年 度				借入先	借入利率	その他借入条件	
			発行額	償 還 金		年度末 現在高				
				元 金	利 子					計
26	社会福祉施設 整備事業	126,000	0	0	882	882	126,000	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	施設整備事業 (一般財源化分)	171,300	0	0	857	857	171,300	新潟県市町村 振興協会	0.5% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	社会福祉施設 整備事業	130,200	0	100	911	1,011	130,100	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	施設整備事業 (一般財源化分)	162,700	0	0	163	163	162,700	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	社会福祉施設 整備事業	3,000	0	0	21	21	3,000	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	施設整備事業 (一般財源化分)	55,000	0	0	55	55	55,000	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
計		648,200	0	100	2,889	2,989	648,100			

(9) 決算の特徴

歳入について

歳入総額は 325,817 千円となり、前年度決算額（305,051 千円）対比 20,766 千円（6.8%）の増額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 1 款「分担金及び負担金」関係

1 項 1 目の市町分担金については、経常費分は全体で対前年度比 2,076 千円の増額となりました。

また、魚沼学園建替工事に伴う施設整備事業費分担金については、起債の償還利子が対前年度比で 35 千円の増額となりました。

2 項 1 目の児童福祉費負担金は、魚沼学園の夏休み期間の日中一時支援事業及び短期入所利用者の増により、居宅生活利用者に係る給付費及び負担金が増額となり、全体で対前年度比 1,612 千円の増額となりました。

2 項 2 目の社会福祉費負担金は、前年度における看護師の育児休業に係る代替看護師の確保ができなかったことによる介護給付費の減算が行われましたが、今年度は看護師の確保ができたことにより 6,773 千円の増額となりました。利用者の負担金は微増し、社会福祉費負担金全体では対前年度比 7,279 千円の増額となりました。

② 2 款「県支出金」関係

県支出金は、児童の入退所の変動により入所児童数が減ったことにより対前年度比 2,916 千円の減額になりました。

③ 5 款「繰入金」関係

当初、一般財源不足に充当するため、財政調整基金から 29,000 千円、老朽化した魚沼更生園の男子浴室修繕工事の財源として施設整備基金 5,000 千円の繰入（取り崩し）を見込んでおりましたが、繰越金及び負担金の増額により繰入を行いませんでした。

④ 6 款「繰越金」関係

前年度決算において、当年度当初の繰替運用に充てるため基金への積立を行わなかったため 25,330 千円の増額になりました。

⑤ 7 款「諸収入」関係

雑入については、魚沼更生園の作業収入等の減額により 380 千円の減額になり

ました。

歳出について

歳出総額は、286,632千円となり、前年度決算額（278,313千円）対比8,319千円（3.0%）増額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 2款「総務費」関係

1項1目の一般管理費において、新たな統一基準公会計システム導入に係る使用料の増額と、職員の資質向上を目的とした研修費の増額等により対前年度比708千円の増額になりました。

また、1項2目の財産管理費において、魚沼更生園非常用消火栓運転用蓄電池の交換に1,782千円を執行しました。

工事請負費は、老朽化が著しい魚沼更生園の男子浴室等修繕工事費3,726千円、エアコン交換取付工事費257千円を含む4,370千円を執行しました。

また、園芸作業の縮小に伴い不要となった公用車のトラックを処分し利用者外出用車両1台の入替購入費として1,501千円を執行しました。その他事務的経費の支出抑制に努めた結果2款全体では、予算現額に対して8,309千円が不用額となりました。

② 3款「民生費」関係

人件費について、1項児童福祉費及び2項社会福祉費それぞれの正職員、非常勤職員を合わせた職員人件費については、対前年度比5,397千円の増額になりました。

1項の児童福祉費における魚沼学園利用児童に対する扶助費の教育訓練費、飲食物費及び日常諸費では13,005千円、2項社会福祉費における魚沼更生園利用者に対する扶助費の指導訓練費、飲食物費、日常諸費で21,125千円を執行し、利用児童、利用者の実績に応じた内容になっております。

なお、魚沼更生園を退所された利用者の保護者からの寄付金で、利用児童、利用者に必要な備品の入替、購入経費とし1,021千円を執行しました。

③ 4款「公債費」関係

魚沼学園建替事業の財源として、平成26年度及び平成27年度に発行された組合債の利子償還分及び平成28年の起債使途状況調査により元金の繰上償還100千円を執行しました。

第2 業務の概要と成果

1 児童・利用者の概況（平成30年3月31日現在）

(1) 在籍児・者の状況

魚沼学園【定員20人／在籍12人】

ア 年齢別児童数

(人)

性別	年齢																						計
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22						
男	1					1		1	3	1	3											10	
女							1					1										2	
計	1					1	1	1	3	1	3	1										12	

イ 学年別児童数

(人)

性別	小学部						中学部			高等部			未就学	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男					1		1	3	1	3			1	10
女						1					1			2
計					1	1	1	3	1	3	1		1	12

ウ 障害程度（IQ指数）別児童数

(人)

性別	軽度		中度		重度		計
	61以上	60～51	50～41	40～36	35以下	IQ測定不能	
男	2	1	4			3	10
女		1			1		2
計	2	2	4		1	3	12

エ 入所理由別利用者数

(人)

区分	月												延計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
契約	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	8	8	112
措置	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	76
計	15	16	16	16	16	16	15	16	16	16	15	15	188

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん
- ・情緒不安定
- ・ダウン症
- ・自閉傾向
- ・統合失調症
- ・広汎性発達障害
- ・肢体不自由

魚沼更生園【定員 40 人／在籍 40 人】

ア 年齢別利用者数

性別	年齢																							計			
	22	23	25	31	32	33	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53		54	62	63
男	1		1	1	1	1		2	3		4	1	2			2	1			1		1			1		23
女	1				1		2	1	2	2	1		1				1	2	1	1		1					17
計	2		1	1	2	1	2	3	5	2	5	1	3			2	2	2	1	2		2			1		40

イ 障害支援区分認定別利用者数

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男			1	4	7	11	23
女			1	7	6	3	17
計			2	11	13	14	40

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん
- ・ダウン症
- ・自閉傾向
- ・情緒不安
- ・身体障害
- ・難聴
- ・統合失調症
- ・双極性感情障害
- ・橋本病
- ・痛風
- ・脂質異常症
- ・アトピー性皮膚炎

(2) 市町別在籍者数

区分	市町	長岡市		小千谷市	十日町市	南魚沼市	湯沢町	津南町	魚沼市	構成市町外	合計
		旧山古志村	旧川口町								
魚沼学園	男				1	5	1		2	1	10
	女				1		1				2
	計				2	5	2		2	1	12
魚沼更生園	男		2	5	1	6			9		23
	女	1		6		4	1		5		17
	計	1	2	11	1	10	1		14		40
合計		1	2	11	3	15	3		16	1	52

(3) 入退所の状況

魚沼学園

(人)

	発生年月	男女別	人数	発生時年齢	出身市町	備考
入所状況	平成29年5月	女	1	17	魚沼市	
	平成29年11月	男	1	6	南魚沼市	
退所状況	平成29年10月	女	1	14	十日町市	家庭引き取り
	平成30年2月	男	1	18	南魚沼市	グループホーム入所
	平成30年3月	男	1	18	十日町市	障害者支援施設入所
	平成30年3月	女	1	18	構成市町外	家庭引き取り
	平成30年3月	女	1	18	魚沼市	自立支援宿泊施設入所
一時保護	平成29年3月	女	1	17	魚沼市	平成29年4月7日まで
	平成29年5月	女	1	17	魚沼市	平成29年5月4日まで

魚沼更生園

(人)

	発生年月日	男女別	人数	発生時年齢	出身市町	備考
入所状況	平成29年7月	女	1	33	魚沼市	
退所状況	平成29年5月	男	1	43	長岡市	

(4) 月別利用者数

(人)

施設	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
魚沼学園 定員20人		15	16	16	16	16	16	15	16	16	16	16	16	190
魚沼更生園 定員40人		40	40	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	479
計		55	56	55	56	56	56	55	56	56	56	56	56	669

2 職員の状況 (平成30年3月31日現在)

(人)

配置 施設	正職員														非常勤等職員	合計	
	園長	庶務課						指導・支援課						計			
		庶務課長	庶務主任	事務員	栄養士	調理員	用務員	指導・支援課長	課長補佐	指導・支援係長	児童指導員	保育士	作業指導員				生活支援員
魚沼学園	[1]		1		[1]			1	1	1	2			6	9	15	
魚沼更生園	1	1			1	1	1	1	1				10	2	18	17	
計	1	1	1		1	1	1	1	1	2	1	2		10	2	24	26

3 施設運営・支援の概要

(1) 施設運営について

① 魚沼学園

福祉型障害児入所施設として、今年度は入所定員 20 人に対して 15 人でのスタートとなりました。年度途中の 11 月に 1 人の措置入所があり、16 人での運営となりましたが、年度末に 4 人が小出特別支援学校高等部を卒業したことに伴い、29 年度末の在籍は 12 人となりました。内訳は、措置児童 5 人、契約児童 7 人です。

また、その他の事業として、短期入所及び日中一時支援事業を行い、短期入所については、入所定員 20 人の空床型で実施しており、定員に満たない空床枠の中で、年間を通じてサービス提供を行いました。また、日中一時支援事業では日曜及び年末年始を除いて成人及び児童の受け入れを行いました。在宅の方の利用は増加傾向にあります。

② 魚沼更生園

指定障害者支援施設として、今年度は入所定員 40 人に対して 40 人でスタートしました。5 月に誤嚥による死亡事故が発生し、1 人の利用者が亡くなりました。その後 1 人の入所があり、29 年度末の入所利用者は 40 人となっています。

(2) 利用児者の支援について

魚沼学園及び魚沼更生園の利用児者に対する支援サービスについては、児童発達管理責任者及びサービス管理責任者を中心として、利用児者の意向、適性、障害の特性、その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づく支援サービスを提供しました。

また、それぞれ年間行事計画に沿って利用児者が楽しめる活動を実施しました。

なお、サービス提供中に何らかの状況の変化等が見られる場合も想定されることから、半年を目途にモニタリングを実施し、支援内容等の見直しを実施しました。

こうした取り組みを通じて、安心して生活できる環境づくりを進めるとともに、利用児者の現況に即した支援サービスを提供しました。

(3) 関係機関や地域との連携について

施設運営にあたっては、県の関係機関（障害福祉課、児童相談所（南魚沼・長岡））からの指導をいただくとともに、各構成市町の福祉課、相談支援センター、知的障害者福祉協会などの関係団体や県内の同種施設からの情報収集を進めながら連携を強化し、サービスの質の向上や利用児者の満足度の向上に努めました。

また、魚沼学園・魚沼更生園保護者会と連携を密にすることで、保護者会からはより良い運営に向けて意見をいただいたほか、利用児者のための行事の共同開催や機関

誌の発行など、様々な活動を行っていただきました。

魚沼学園においては、入所児童が通う小出特別支援学校と密に情報交換を行い、よりよい支援が行われるよう努めました。また、高等部卒業後の進路については、関係機関等と連携し、必要に応じて関係者会議等で検討を行いました。短期入所、日中一時支援事業では、近年利用希望が増加傾向にあり、相談支援センターを中心に、ニーズに合わせたサービス提供が出来るよう情報共有や、関係者会議等を行いました。

地域との連携においては、様々な場面で各種団体からのボランティアや奉仕活動などの協力をいただいたほか、防災体制においては、地元十日町区から選出された方に施設強化委員（非常駆付員）を委嘱し、総合避難訓練に参加いただくなど安全安心な施設運営に協力をいただきました。

また、地域の団体からはイベント等に利用児者が参加する機会を与えていただいたほか、地域の催し物や近隣の公的施設において利用者の作品等の展示・即売を行う場を提供していただき、その中で地域住民との交流を深めながら障害児者への理解を求める活動にも取り組みました。

4 今後の課題

(1) 中期運営計画について

検討を進めてきた当組合の中期運営計画については平成 29 年度に策定が完了し、平成 30 年度から 5 年間の計画がスタートすることになります。この計画は当組合運営の基本的な計画となりますが、国の福祉施策の動向や社会環境の変化に柔軟に対応していくためにその都度検証と見直しを行い、計画的な施設運営と体制の強化を推し進めていく必要があります。

また、計画期間中は計画の進捗状況の管理や検証が重要となるため、期間中の検証方法やそのスケジュールについて早急に検討を行い、実効性のある計画となるよう取り組んでいく必要があります。

(2) 安定した施設運営とサービスの質の向上について

当組合においては退職職員の補充を極力抑制しながら、不足分は非常勤職員等で対応してきた経緯がありますが、これにより職員間の待遇格差による士気の低下や組織の弱体化が懸念されるとともに、最近では非常勤職員等の確保も非常に難しい状況です。このような中、当組合では職員全体の半数近くを非常勤職員が占めており、全国的に人材確保が難しい状況となる中、安定した施設運営とサービスの質の維持・向上が求められます。特に調理職場においては非常勤職員等の入れ替わりが激しく、安定した食事提供体制の構築が急務となっています。中長期的な方向性も踏まえて、必要な職員の確保は安定した施設運営と利用者の安全確保の観点からも不可欠です。今後

の施設運営を進める上で最善の体制を早急に検討する中で、サービスの低下に繋がらないよう取り組む必要があります。また、障害の重度・重複化、多様化が進んできているため、それぞれの特性やレベルに応じた指導・支援の充実を図る必要があることから、職員の研修の機会を増やすなど、専門的な知識・技術の向上により提供する福祉サービスの質を高めていく必要があります。

(3) 魚沼更生園の居住環境の改善について

魚沼更生園は開設から 34 年が経過し、水回りを中心に老朽化が進んでいることから毎年計画的に浴室修繕やトイレのバリアフリー化を行っているところです。この計画は平成 31 年度の魚沼更生園男子棟のトイレ修繕で一通り終了する予定となっておりますが、その後も必要最低限の修繕は継続していく必要があります。また、防犯対策や安全対策などによる環境改善についても検討を進める必要があります。

鉄筋コンクリート建築物の耐用年数 50 年を約 15 年後に控えて、今後の施設運営の方向性の検討と同時に魚沼更生園の大規模改修や建替え等についても検討を始める時期にきています。

(4) 組合構成市町からの財源負担等について

当組合は公立の一部事務組合施設であるため、給付費等の算定において民営の社会福祉法人等より減算され、収支に不足が生じた場合には組合構成市町からの分担金で補わざるを得ない状況にあります。また、魚沼学園建て替えに係る施設整備に関する起債の償還が平成 30 年度から本格的に始まることから、それ以降は平成 47 年度までの間、組合構成市町においては分担金の額が大幅に増えることとなります。

このため、今後の歳入確保と歳出抑制においては施設運営の方針と全体のバランスを勘案しながら効率的な運営を推し進めると共に、中期運営計画の内容を踏まえた質の高い福祉サービスの提供と関係機関との連携や人材育成の取り組みを継続しながら、過度な財源負担が生じないように見極めていく必要があります。